

第96回 みんなで作る音楽会 案内

日時：2月11日 水曜日 13:15 から 16:00

場所：公民館 114 室 2609

ウィーンフィルニューイヤーコンサートと NHK 新年・オペラコンサート

1. ウィーンフィル ニューイヤーコンサート 2026

13:15-14:45

🎵 指揮者は初登場のヤニック・ネゼ・セガン！ 🎵

ヤニック・ネゼ・セガンは 1975 年カナダ出身の指揮者。アメリカのフィラデルフィア管弦楽団とメトロポリタン歌劇場の音楽監督を務める実力者です。

ウィーン・フィルとの初共演は 2010 年のザルツブルク・モーツァルト週間。以来共演を重ねて、今回初めてニューイヤーコンサートの指揮を務めます。



【住本コメント】

2022 年 2 月ウィーン・フィル@New York カーネギーホール公演で 2 日前にロシアのウクライナ侵攻が勃発したので指揮者が公演前日に降板した それを救ったのがヤニック・ネゼ・セガン すご全ての公演で曲を変更することなく完璧に達成し 公演は大成功であった 公演後楽団長が 2026.1 月の予定は？と尋ねると、勿論ウィーンに行くよと返事があった）

🎵 2026 年の聞き所 🎵

メイン・プログラムでは、毎年ヨハン・シュトラウス一家やランナーなど、ウィーンゆかりの作曲家の作品が多く演奏されますが、毎年初登場の曲があるのも楽しみの一つです。

今回の初登場曲は 5 曲。うち 2 曲は女性作曲家の作品です。ヴァインリヒはヨハン・シュトラウスの時代に活動し、ヨーロッパで初の女性オーケストラを結成しました。そしてもう一人、プライスは 19 世紀末に生まれたアフリカ系アメリカ人の作曲家です。

指揮者のネゼ・セガンはプライスの作品を近年積極的に取り上げています。

その他、曲名を見ても国際色豊かなプログラムになっています。

🎬 現地スタジオにはウィーンゆかりの 3 人の素敵なゲストが登場 🎬

俳優の中谷美紀さんはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のビオラ奏者と結婚され、日本とオーストリアを行き来しながら活動しています。ウィーン・フィルの楽員の家族からみたウィーン・フィルの魅力をうかがいます。

ヘーデンボルク直樹さんは、ウィーン・フィルのチェロ奏者。指揮者ヤニック・ネゼ・セガンとこれまで共演してきた印象などをうかがいます。

バレエダンサーの三森健太朗さんは、2025 年 9 月

にウィーン国立バレエ団に入団、プリンシパルを務めています。



司会高瀬耕造アナの第1部と第2部の中間解説から、【住本コメント】

第2部の見どころの紹介として、ヨーロッパ初の女性オーケストラについて、創設者ヨゼフィー

ネ・ヴァインリヒ（1848-1887）彼女は指揮者・作曲家で3人の子供の母親でもあった。彼女のキャリアの始まりは Beer hall から、これは一体どうゆうことでしょうか？音楽学者オットー・ビーバ氏によると、Beer hall ではビールは 0.5L 入りのジョッキで出された、彼女は歌手・ヴァイオリニスト・ピアニスト、さらに指揮者として活動しました。この頃すでに最初の声楽曲を作曲しています。ウィーンの歌、ウィーンの旋律です。彼女の活躍はヨハン・シュトラウスの時代、その頃女性がオーケストラに入ることは許されてなかった。許されないなら、創って仕舞いましょうとなった。八面六臂の活躍で、25歳の時にキャリアハイライトがやって来ました。ウィーンで万博が開催され世界から人々が集まりました。ついに 1873 年万博の観客のためにウィーン楽友協会大ホールで演奏した。自らの道を切り開いた彼女の音楽がそのあと 153 年振りに楽友協会に帰ってきます。場所は変わってアメリカ黒人差別の時代に生まれたアフリカ系アメリカ人のフローレンス・プライス（1887-1953）は音楽を志したもののニューイングランド音楽院では自らをメキシコ人と偽らざるを得なかった。そんな彼女に影響を与えたのがドボルザークです。交響曲第9番「新世界から」、彼の音楽には民族音楽の要素があった。プライスは差別の対象であった自分のルーツである黒人霊歌やリズムと西欧音楽融合を図り交響曲第1番（プライス）第3楽章にジュバダンスを取り入れた。このようなプライスの音楽を積極的に取り入れたのが今回のネゼ・セガンです。**彼の言葉は、今指揮や作曲に情熱を注ぐ女性は多数います。道を切り開いた作曲家に光を当てることで数年後景色は変わるはず。異文化に開かれたクラシック音楽を信じています、だから今回彼女の曲は重要です。**

🎻 曲目 🎧（★＝初登場） ムジークでは第2部（住本解説文）全曲聴いてもらいます。

【第1部】

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 ヨハン・シュトラウス作曲 | 喜歌劇「インディゴと四十人の盗賊」序曲 |
| 2 ツィーラー作曲 | ワルツ「ドナウ川の物語」★ |
| 3 ランナー作曲 | マラプー・ギャロップ★ |
| 4 エドゥアルト・シュトラウス作曲 | ポルカ・シュネル「小悪魔の大騒ぎ」★ |
| 5 ヨハン・シュトラウス作曲 | 「こうもり」のカドリーユ |
| 6 ヨハン・シュトラウス（父）作曲 | ギャロップ「パリの謝肉祭」 |

【第2部】

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 7 スッペ作曲 | 喜歌劇「美しいガラテア」序曲 |
| 8 ヴァインリヒ作曲／デルナー編曲 | ポルカ・マズルカ「セイレーンの歌」★ |

ヨハン・シュトラウスと同時代に活躍した女性作曲家ヨゼフィーネ・ヴァインリヒ ウィーンで初となる女性だけのオーケストラを設立、指揮者として楽団を引き連れ欧米各地で演奏を行った。曲にある水の精セイレーンはその美しい歌声で水夫を魅惑する。

- | | |
|-----------------|------------|
| 9 ヨーゼフ・シュトラウス作曲 | ワルツ「女性の尊厳」 |
| 10 ヨハン・シュトラウス作曲 | 外交官ポルカ |

バレエ：ウィーン国立バレエ団、振り付け：ジョン・ノイマイヤー、衣装：アルベルト・クリームラー

ホーフブルグ宮殿、この王宮は13世紀以降長らくハプスブルグ家の政治の中心として繁栄した。**バレエ**は、男子1人、女子5人で構成されている。

11 プライス作曲／デルナー編曲

レインボー・ワルツ ★

ヨハン・シュトラウスと同時代に活躍した女性作曲家ヨゼフィーネ・ヴァインリヒ ウイーンで初となる女性だけのオーケストラを設立、指揮者として楽団を引き連れ欧米各地で演奏を行った。曲にある水の精セイレーンはその美しい歌声で水夫を魅惑する。

12 ルンビー作曲

コペンハーゲンの蒸気機関車ギャロップ

「北欧のシュトラウス」して親しまれたデンマークの作曲家ルンビー、首都コペンハーゲンと古都ロスキレを結ぶ鉄道開通を記念して 1847 年に作曲された。

出発の鐘や汽笛の響きと共に列車が終着駅を目指し駆け抜けるさまが描かれている。

13 ヨハン・シュトラウス作曲

ワルツ「南国のバラ」

バレエ：ウィーン国立バレエ団、振り付け：ジョン・ノイマイヤー、衣装：アルベルト・クリムラー

街の中心部にあるウィーン応用美術館は多数の美術工芸品を誇る。皇妃エリーザベトが愛した「ウィーンのばら」は由緒ある工房が手掛ける磁器シリーズの一つ。

バレエは、男子・女子ペア 6 組で構成されている。

14 ヨハン・シュトラウス作曲

エジプト行進曲

15 ヨーゼフ・シュトラウス作曲

ワルツ「平和の棕櫚(しゅろ)」

16. アンコール曲 1. ポルカ・シュネル「サーカス」フィリップ・ファールバッハ作曲

アンコール 1 曲目はコンサート初登場のフィリップ・ファールバッハのポルカ、シュトラウス家と同時代に活躍し生涯およそ 350 曲の舞曲や行進曲を残した。

ポルカのリズムに乗せて響くむちの音がサーカスのにぎやかな雰囲気醸し出す。

冒頭は指揮者ネゼ・セガンからのご挨拶：ウィーン・フィルと私は世界のすべての人々に平和が訪れるようお願いを捧げます。平和を生み出すのは思いやりや違いを受け入れる優しさです。音楽が私たち全てを結びつけてくれますように、同じ星に生きているのですから！

ウィーン・フィルと私から、みなさま「新年あけましておめでとうございます」。

17. アンコール曲 2. ワルツ「美しき青きドナウ」ヨハン・シュトラウス作曲

もともとは戦争に敗れて打ちひしがれた人々のためにヨハンが書いた合唱曲だった。「**ウィーンっ子よ楽しく過ごせ**」という歌詞で人々を力づけたこのワルツ今ではオーストリアの「第 2 の国家」と呼ばれ愛されている。

18. アンコール曲 3. 「ラデツキー行進曲」ヨハン・シュトラウス（父）作曲

コンサートの最後を飾るのは父ヨハンが名將軍ラデツキーの勝利を祝って書いたこの曲。

ウィーン・フィルによる編曲版で演奏される。今回は指揮者ネゼ・セガンが聴衆の中に入り、満場の観客による手拍子とともに演奏される。

演奏終了後の対談 アナ・司会：高瀬 耕造

ゲスト：中谷 美紀、ヘーデンボルグ直樹、の終演後の感想等の対談：

次回 2027 年ウィーン・フィル ニューイヤーコンサートの指揮者トゥガン・ソヒエフ氏が発表された。ロシア 北オセチア出身 ウィーン・フィル、ベルリンドイツオペラ等オペラ・コンサート両分野で活躍している。日本にも来日 NHK 交響楽団と定期演奏会で協演している。

3. ニューイヤー・オペラコンサート

15:00-16:00

第68回となる今回のテーマは「歌がえがく 心のかたち」——誰もが心に抱くさまざまな“思い”を鮮やかに描いた名曲の数々を、豪華歌手陣で華やかにお届けします。クラシック音楽の中でも屈指のドラマ性を誇る“オペラ”の魅力を、どうぞお楽しみください。

ミュージカル「オペラ座の怪人」から「Think of Me」「The Music of the Night」「The Phantom of the Opera」(ロイド・ウェバー) 森野美咲／大西宇宙／富貴晴美(編曲・ピアノ)ほか



ソプラノ

森野 美咲



バリトン

大西 宇宙



ピアノ・編曲者

富貴 晴美

歌劇「トゥーランドット」 ハイライト (プッチーニ)

田崎尚美(トゥーランドット)／宮里直樹(カラフ)／中村恵理(リユー)／妻屋秀和(ティムール)／萩原潤(ピン)／与儀巧(パン)／菅野敦(ポン)／平野和(大官)／

合唱：新国立劇場合唱団、二期会合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブル、藤原歌劇団合唱部
ウエンツ瑛士(語り)／錦織健(台本)



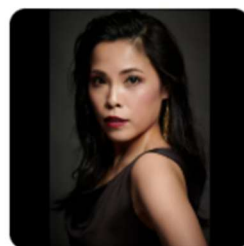
ソプラノ

田崎 尚美



テノール

宮里 直樹



ソプラノ

中村 恵理



バス

妻屋 秀和



バリトン

萩原 潤



テノール

与儀 巧



テノール

菅野 敦



バス・バリトン

平野 和



司会

ウエンツ 瑛士

喜歌劇「こうもり」から「ぶどう酒の燃える流れに」(ヨハン・シュトラウス)ソリスト全員

合唱：新国立劇場合唱団、二期会合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブル、藤原歌劇団合唱部



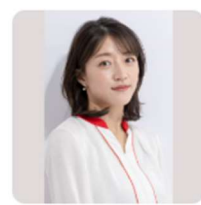
指揮

阪 哲朗



管弦楽

東京フィルハーモ
ニー交響楽団



司会

赤木 野々花 アナウン
サー

以上